

2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ジョイフル
代 表 者 名 代表取締役社長 穴見 くるみ
(コード番号 9942 福証)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 野島 豊
(TEL 097-504-2155)

子会社の第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異及び
業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社フレンドリーが、本日、第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせを公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

(添付)

「第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」
(2022年11月11日付の株式会社フレンドリー公表資料)

以 上

各 位

会 社 名 株式会社フレンドリー
 代 表 者 名 代表取締役社長 國吉 康信
 (コード番号 8209 東証スタンダード)
 問合せ先責任者 取締役営業本部長 田之頭 悟
 (TEL 072-874-2747)

第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異及び
 業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期（累計）の業績予想値と本日公表の実績値との差異及び2023年3月期通期（累計）の業績予想の修正をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 第2四半期（累計）業績予想と実績値の差異
 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,112	百万円 15	百万円 20	百万円 15	円 銭 △1.75
実績値(B)	1,020	△99	△88	△89	△38.47
増減額(B-A)	△92	△115	△108	△104	
増減率(%)	△8.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2四半期実績 (2022年3月期 第2四半期)	855	△141	4	△19	△8.10

2. 第2四半期（累計）業績予想と実績値の差異の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化により、売上高は計画比マイナス92百万円、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、エネルギー価格や原材料価格の上昇により、営業利益は計画比マイナス115百万円、経常利益は計画比マイナス108百万円、四半期純利益は計画比マイナス104百万円となり、前回発表予想を下回る結果となりました。

3. 2023年3月期 通期業績予想数値の修正
(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,236	百万円 50	百万円 65	百万円 50	円 銭 3.51
今回修正予想(B)	2,078	△112	△95	△104	△50.54
増減額(B-A)	△158	△162	△160	△154	
増減率(%)	△7.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,746	△301	△114	△158	△59.78

4. 修正の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、景気の回復が想定よりも緩やかであることから、2,078百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、エネルギー価格や原材料価格の上昇により、△112百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、上記要因により、△95百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、2022年8月12日発表の「法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、法人税等調整額(益)を計上したことと、計画に見込んでいなかった固定資産の減損損失を第2四半期までに2百万円計上したことにより、△104百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。